



目次

● 一診療連携一 「放射線科」のご紹介	2
● 一職場紹介一 リハビリテーション室	4
● 一お知らせ一	6
● 一新入職員紹介一	8

診療連携

「放射線科」のご紹介



放射線科
部長 矢野 武志

放射線科のスタッフは常勤医3名（専門医2名、非専門医1名）です。昨今、医師不足、偏在の問題がクローズアップされていますが、放射線科もご多分にもれず、当病院への医師派遣の母体である鹿児島大学放射線科医局の人員不足は深刻です。中條教授や歴代医局長が各関連病院への医師派遣に苦心惨憺しておられる中、曲がりなりにも放射線科医3名体制を維持していただけるだけでも大学医局には感謝しなければなりません。6年前に業務増加に対応できるように増員を獲得した専門医3名+非専門医1名の常勤医4名枠は充足できない状態が続いています。残念ながら今後もこの状態が解消されることはなさそうです。

放射線科の日常業務は、CT、MRI、RIの画像診断およびIVR（ほとんどは肝臓癌に対する肝動脈化学塞栓術）とIVR目的の入院患者管理、人間ドックの胸部X線検査のダブルチェックなどです。ここで強調しておかなければならないことは、出来上がった画像を読影するだけが画像診断ではありません。患者さんへの検査についての説明および同意書の取得、提供された診療情報を元にした撮像部位や範囲の指定、検査目的に合った造影剤投与の条件設定、検査に伴って生じ得る有害事象に対する処置など一つの検査開始前の計画から終了後の読影まで責任を持って当たっています。この点が、遠隔画像診

断との大きな違いであり、病院に勤務する放射線科医の存在意義であると自負しています。

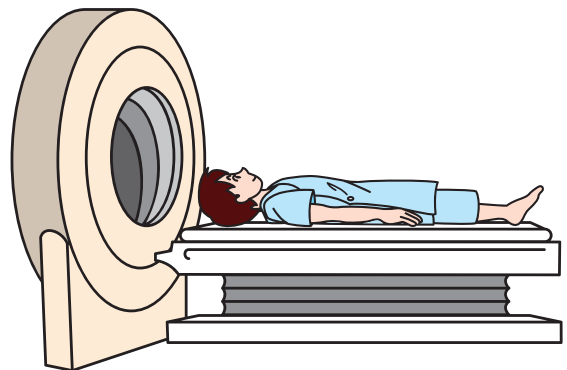
当院の放射線機器は最も新しいものでも5年前に導入された16列のMDCTで、MRIは7年、IVR-CTは14年、RIは16年が経過しようとしています。諸般の事情により数年来、必要な機器更新がなされない状況が続いています。勿論、何とか使えてはいますが、修理部品の供給も終了となったものもあり、故障の状態次第では修理不可能となってある日突然、検査や治療ができなくなる可能性も出て来て日々不安を抱えての日常業務です。診断の精度にしてもかなり時代遅れとなっている面もあり、日進月歩の画像診断にあっては何とも残念なことです。特にIVR-CTは、IVR治療で使うマイクロカテーテル、ガイドワイヤーの視認性が非常に悪くなっており、合併症を起こさないかひやひやしながら何とかこなしている状況で、術者の精神的、肉体的負担は年々増えています。また、IVR-CTはIVRだけではなく、通常の診断用CTとしても使ってきましたが、さすがに14年も経ったCTでは現在の精密検査には適さないために稼働率が極めて悪くなっています。本年度よりDPC制度が導入され、各検査が外来へ移行しましたが、院外からの紹介や術前の精密検査をMDCT1台で捌くにはかなり無理があります。これまで入院患者優先としていた午後にも外来患者優先枠を広げて可能な限り対応していますが、ご紹介くださる先生方には、予約が取りにくい状態が続いて大変申し訳なく思っています。しかしながら単位時間当たりに検査可能な人数を超えての予約枠になっていて予約の時間を大幅にすぎてお待たせしているのが実情で、検査で来院の患者さんには多大なご迷惑をおかけしていることもご理解いただきたいところです。ほとんど毎日、午前予定分が押して午後に食い込んでしまい、昼食は早くて

2時～3時過ぎ、IVRがあれば食べられないこともあり、若い先生たちでも身が持ちません。ましてメタボまっしぐらの中年にとっては尚更です。新規に診断専用のCTを設置するスペースはありませんのでIVR-CTを更新して診断用CTとしても活用すること以外には現状の解消は無理なのですが、機器が更新されて検査件数、特に午前中の件数が大幅に増加すれば検査後即読影の体制を現有スタッフ（専門医2名、非専門医1名）で維持する事はできないことは明白で、無理をすれば検査、診断の質が低下する事になります。機器更新の際には患者さんは検査終了したら報告書作成を待たずに帰っていただき、報告書は後日送付する体制に変更させていただきたいと考えています。今でも検査開始までに長く待たせた上に、報告書ができるまでにまた長く待たせている心苦しい状況です。駐車場の問題もあってかなり早く来院される方もいらっしゃるみたいですが、早く来られても検査は予約順で早くできること

はほとんどありませんので、患者さんには予約時間に合わせて来院くださるようご指導の程よろしくお願ひ申し上げます。また、検査報告書は後日送付でもよければ患者さんの待ち時間短縮になりますので合わせて患者さんへのご指導並びに当院へも情報提供書にその旨をご記入いただければ大変ありがたいです。

医師会病院放射線科の画像診断をご信頼いただいている諸先生方のご要望には出来る限りお答えするよう放射線科医、放射線技師共々で努力しています。患者さんの状態や都合により、「今日中になんとかならないか」などのご依頼は直接お電話で放射線科医にご相談いただきたいと存じます。待ち時間という大きな問題はありますが極力対応しています。

このような現状で大変ご不便をお掛けしていますが、今後ともご愛顧を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



職場紹介

「リハビリテーション室」のご紹介

理学療法士
前野 裕一

はじめに

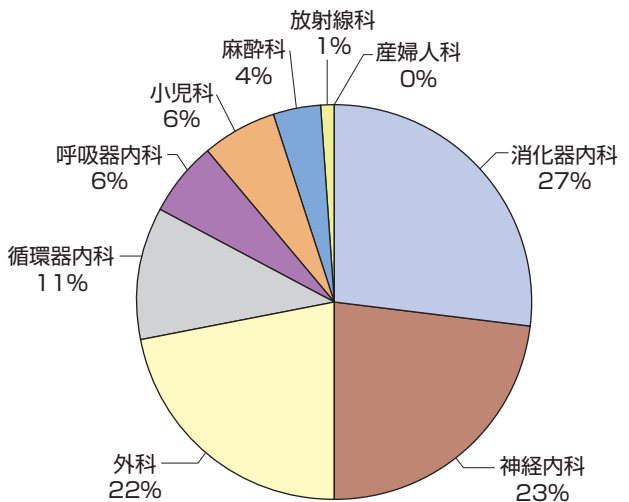
平成21年12月1日より、新館5階にリハビリテーション室を開設致しました。リハビリテーション室は、新館5階へ上がり、エレベーターを出て左に行くと化学療法室を通過して奥にあります。リハビリテーション室は、理学療法室、作業療法室、言語聴覚室と同じフロアにあるために患者さまの様子が分かるようになっていて、スタッフ間の連携がとりやすくなっています。また、窓も多く明るく開放的になっていて眺めも良く、患者さまにとっては運動しやすく、私たちスタッフにとっても働きやすい環境へととなりました。この新設にあたり新しくスタッフが4人増えて、5人体制でリハビリを提供していきます。リハビリテーション室の紹介と共に、今後の方針について報告致します。

1年間のリハビリ動向

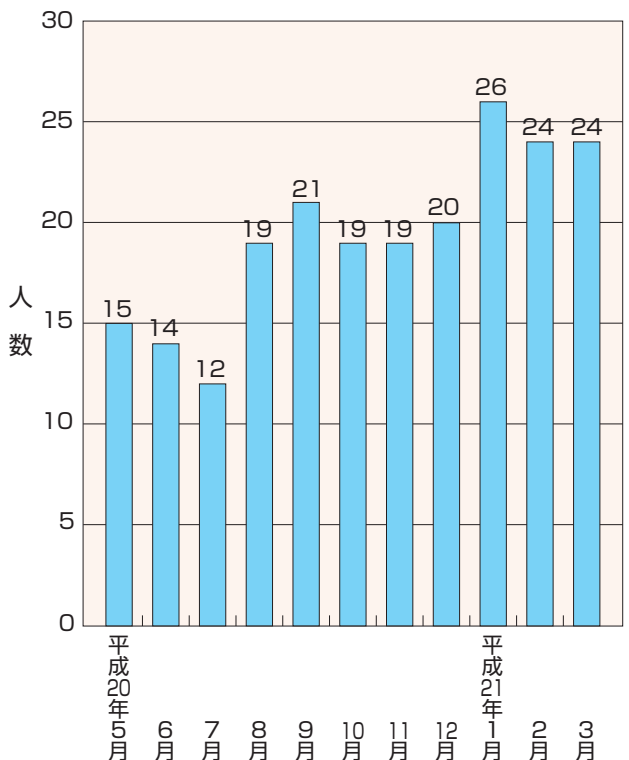
平成20年5月から、病棟で行ってきたりハビリ新規依頼患者の診療部別割合を示します。消化器内科が約3割を占めて、次に神経内科、外科、循環器内科、呼吸器内科、小児科、麻酔科、放射線科の順になります。リハビリの実施内容は、ベッドサイドでの拘縮予防、基本動作練習、病棟での歩行練習を中心に行って来ました。リハビリ新規依頼患者数は平成20年5月の15人から始まり平成21年1月は25人と増えてきて、その後も増加傾向にあります。

今後はスタッフ数が4人増えることによって多くの患者さまにリハビリを提供できるようになります。また、作業療法士、言語聴覚士と新たに専門職が加わることにより、より充実したリハビリの提供が期待できます。そのため、依頼の診療部割合、件数ともに大きく変わってくる事が予想されます。

リハビリ新規依頼患者の診療部別割合 (H20.5~H21.3)



リハビリ新規依頼患者数 (H20.5~H21.3)



お知らせ

呼吸器内科診療日のお知らせ

会員の先生方よりご要望のありました呼吸器内科外来診療を、当該診療科の常勤医師2人の着任に伴い、下記のとおり開始することとなりました。

呼吸器内科疾患等の患者様を通じた医療連携の推進が図ることができれば幸いです。

患者様のご紹介方、よろしく願いいたします。

なお、ご不明な点につきましては、医師会病院外来窓口（電話：254-1125 内線223、227）までご連絡ください。

記



診療開始日 平成18年8月16日（水）

外来診療日 毎週 水・金

（*受付時間、ご紹介方法等は従来どおり）

常勤医師 濱崎 哲郎、貞村 ゆかり

※急患について…8月1日付けで呼吸器内科医師2人が常勤していますので、急患の診療等については、電話等で呼吸器内科にご照会くださるようお願いいたします。

【 基本理念 】

患者様の意思と権利を尊重し、会員や地域の医療ニーズに応え、安全で質の高い誠実な医療を提供します。

【 基本方針 】

- 1) 医療を通じて地域社会への貢献
- 2) 救急医療の推進
- 3) 専門性を追求した高度医療の実践と連携の強化
- 4) 予防医学と医療人教育

新入職員（新任医師）紹介

放射線科医長

<プロフィール>

(H 21. 9. 1 ~)

名 前 ほけまご ひろと 袴田 裕人

出 身 県 鹿児島県

出 身 大学 鹿児島大学
(平成17年卒)

前 勤 務 先 県立大島病院

趣 味 読書



宜しくお願い致します。

小児科医師

<プロフィール>

(H 21. 9. 1 ~)

名 前 ちづもと あほ 立元 千帆

出 身 県 鹿児島県

出 身 大学 長崎大学
(平成11年卒)

前 勤 務 先 立元小児科内科

趣 味 ドライブ・バイク



病気の父に代わり実家のクリニックでの開業医生活を経て勤務医再出発です。頑張りますのでよろしくお願い致します。

鹿児島市医師会病院 連携室だより No.15

創刊日：平成17年8月10日

発行日：平成21年4月10日（年3回 4・8・12月発行）

発行者：〒890-0064 鹿児島市鴨池新町7番1号

鹿児島市医師会病院 院長 田畑 峯雄

担 当：医療連携・相談室

T E L：099-254-1125（代表）

T E L：099-254-1121（医療連携・相談室）

F A X：099-254-1308（医療連携・相談室）

ホームページ：<http://city.kagoshima.med.or.jp/kasiihp>

ご意見などございましたら、お気軽にご連絡ください。